

6月定例会

●会期 6月13日～6月21日(9日間)

現行の健康保険証存続を国に 求める請願や補正予算を可決

今回は

報告 2件
市長提出議案 29件
請願 1件
議員提出議案 1件



6月定例会議案採決(議案第27号)

市農業委員会の委員任命議案19名全員に同意

【議案第1号】から【議案第19号】まで農業委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて

議案番号	氏名	住所	推薦・応募
議案第1号	高橋 栄光	八幡平市松尾寄木第31地割57番地1	応募
議案第2号	竹田 憲治	八幡平市大更第40地割87番地6	推薦
議案第3号	竹田 和夫	八幡平市大更第10地割230番地	推薦
議案第4号	伊藤 始	八幡平市平笠第2地割81番地	推薦
議案第5号	齊藤由希子	八幡平市野駄第1地割61番地2	推薦
議案第6号	中村 一彦	八幡平市荒木田第7地割43番地	推薦
議案第7号	熊澤 威人	八幡平市帷子第16地割128番地	応募
議案第8号	國司 功	八幡平市平笠第15地割6番地	応募
議案第9号	三浦美恵子	八幡平市大更第46地割115番地3	推薦
議案第10号	古川美枝子	八幡平市松尾第5地割693番地6	推薦
議案第11号	大森 直子	八幡平市荒屋新町145番地	推薦
議案第12号	三浦 隆	八幡平市平又14番地2	推薦
議案第13号	工藤 嘉充	八幡平市田頭第33地割46番地1	応募
議案第14号	松村 勝彦	八幡平市大更第33地割49番地	応募
議案第15号	阿部 正光	八幡平市松木田243番地3	応募
議案第16号	田村 昭雄	八幡平市平館第3地割45番地	応募
議案第17号	向久保 勉	八幡平市大更第3地割238番地5	応募
議案第18号	元木 昭彦	八幡平市大更第18地割50番地397	応募
議案第19号	小山田和義	八幡平市中佐井61番地	推薦

※任期：令和6年9月1日から令和9年8月31日まで

【議案第23号】 財産の取得に関し議決を求めることについて

消防ポンプ自動車 5分団3部に整備

6者の指名競争入札により消防ポンプ自動車を互光商事(株)から3190万円で新規に購入するものです。

【議案第24号】 財産の取得に関し議決を求めることについて

ロータリ除雪車を 1台取得と安全性

3者の指名競争入札によりロータリ除雪車(2・6歳級)を(株)東和本社から5720万円で新規に購入するものです。

Q 事故軽減や運転手の負担軽減のためにバックモニターは付いているのか伺う。

A 後方カメラという形で積載予定である。

Q 資料として詳細な仕様書を付けるべきでは。

A 議案書に添付する資料については、今後協議したい。

【議案第27号】 令和6年度八幡平市一般会計補正予算(第3号)

1億855万円の 増額補正予算可決

歳入、歳出それぞれ1億854万9千円を増額し、総額183億9878万4千円とするもので、主な歳出は次のとおりです。

▼予防接種業務委託料
2600万円(増額)

▼旧西根総合支所屋内消火栓ポンプ更新工事
519万円(増額)

Q 医療機関によってワクチン接種の自己負担額が違うが、例えば、田山診療所で接種した場合と市立病院で接種した場合では、自己負担額に違いはあるのか。

A 市立の医療機関はワクチンを一括購入しているため、市立病院と田山診療所の自己負担の金額は同じである。ただし、医療機関によって、購入するワクチン代金に違いがあるため、自己負担の金額に違いが出てくる。

Q 新岩手農業協同組合に貸している旧西根総合支所は、市と賃貸借契約が結ばれていると思うが、契約書では修繕に関してどのような規定がなされているのか伺う。

A 契約書では、大規模な修繕が見込まれる場合には、両者協議の上で対応するものと規定している。

Q 今後さまざまな修繕が必要になってくるのでは。

A 耐用年数も大分経過している建物であり、修繕が必要なものが出てくる。今回に限りは、貸付け対象のエリアではなかったため、全面的に市で対応する。

Q その都度、市が負担していくと大変なことになるのではないか。

A その都度、必要性などを勘案し、新岩手農業協同組合との契約書に記載のとおり協議し決定していく。

Q 田山スキー場の修繕費139万7千円の内容を伺う。

A 第1リフトのユニバーサルジョイントの交換および第2リフトの機械室の窓を修繕するものである。

【請願第1号】 現行の健康保険証を残すことを求める請願

現行の健康保険証 存続を国に求める

全会一致で採択

(請願者) 岩手県社会保険推進協議会会長・佐藤嘉夫

政府は、現行の健康保険証を2024年12月2日に廃止し、マイナンバーカードに健康保険証機能を組み込んだ、いわゆる「マイナ保険証」にすることを閣議決定しました。しかし、誤登録や資格無効と表示されるなど、マイナ保険証での受診によるトラブルが続出し、多くの患者・国民の間に不安が広がっています。岩手県保険医協会が実施しました、健康保険証廃止に伴う高齢者施設などへの影響調査(回答数70施設)によると、9割以上の施設で「利用者のマイナンバーカードの管理ができない」と回答しています。国民皆保険制度のもとで、守られるはずの命と健康を脅かすものであってはならず、医療を受ける権利を確実に保証するために、現行の健康保険証を残すことを求めるものです。

一般質問

質問した事項

関 治人 議員(八起会).....05

- ・八幡平市高齢者福祉計画について
- ・(仮称)大更駅前顔づくり施設について

井上 辰男 議員(八起会).....06

- ・人口流出と地域コミュニティの維持について

渡辺 義光 議員(市民クラブ).....06

- ・「消滅可能性自治体・八幡平市」から脱却するまちづくりについて
- ・市指定民俗芸能の保存と継承活動について

勝又 安正 議員(八起会).....07

- ・持続可能な林業振興について
- ・新規就農者対策について
- ・地域との学習教育について

高橋 悦郎 議員(日本共産党).....08

- ・ふるさと納税について
- ・大更地区の狐塚市有地の利活用について

熊澤 博 議員(自由クラブ).....08

- ・稲作農業の在り方について
- ・障がい福祉サービス報酬改定への対応について

工藤 多弘 議員(松西会).....09

- ・(仮称)大更駅前顔づくり施設および大更駅周辺開発について
- ・熱中症対策における市有施設の市民への開放について
- ・女性の活躍推進について

齊藤 隆雄 議員(日本共産党).....10

- ・支援学校の通学支援について
- ・田山グラウンド緑化について

田村 正元 議員(八起会).....10

- ・子育て支援と都市計画について
- ・学校教育について
- ・市内の住宅環境について



せき 関 議員(八起会)



認知症は今後の重要課題

基本計画の策定を検討

問 今年1月に認知症に特化した初法律が施行され、認知症対策は、市としても今後の重要課題である。市では基本計画策定の要否をどのように考えているのか。

市長 市の認知症施策推進基本計画の策定については、国の計画や県、他市町村の

市民に周知するべきでは。

市長 各種活動の機会を活用しながら、さらに輪を広げていくように努力したい。

高齢化の地域格差

問 市の高齢化率は、西根、松尾、安代の三圏域で地域格差が生じている。地域ご

とに詳細な計画が必要では。

市長 地域の現状把握に努め、施策を推進する。

請負契約の変更は

問 (仮称)大更駅前顔づくり施設建設は、物価や人件費の高騰により、契約金額や工期の変更が予想され



認知症サポーターオレンジリング

る。変更契約は法律上、どのようにしているのか。

市長 公共工事の品質確保の促進に関する法律第7条では、発注者の責務として「必要がある場合には、適切に設計図書および請負代金、工期の変更を行うこと」と明記されている。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



井上辰男 議員
(八起会)

若い女性の地元定着策は 女性会議を設置し議論



初の女性会議で意見交換

問 未婚者の県外流出が多い。若い女性の定着に向けた施策が必要と考えるが。

市長 八幡平市女性会議を設置した。さまざまな分野から率直な意見を聞き、有効な施策に結び付けていく。

問 人口減少は避けられない。一定の人口減を前提と

しながらも次世代のために「持続可能なまちづくり」が必要ではないか。

市長 現在、住んでいる住民に視点を向けた幸福度を増すような施策や恵まれた資源を有効活用し、情報発信の強化を図っていく。

問 (仮称)大更駅前顔づく

り施設内に「一時預かり所」を整備する予定だが、共働き夫婦のため、朝早くから夕方遅くまで、子どもを預けられないか。

地域福祉課長 朝早くから夜遅くまでは想定していない。(仮称)大更駅前顔づく

用を検討している。

問 小児科や産科の医師不足が深刻になると推察される。地域医療を確保するため、小児医療体制を伺う。

市立病院事務局長 非常勤の小児科医師の応援を得ながら、安心して小児科を受診できるような常勤医師の

確保に努める。

問 自治会の必要性を疑問視する人が増えてきた。今後の在り方を見直す必要があると思うが、見解を伺う。

市長 市の介入や指導はできないが、地域振興協議会とともに地域の維持、活性化に取り組んでいく。



渡辺義光 議員
(市民クラブ)

民俗芸能の継承と課題 電子映像記録を教材活用



三代で熱演(平笠田植え踊り)

問 過疎化や少子化で担い手が不足し継承の危機に直面している民俗芸能がある。過去に一般質問で民俗芸能の継承について提言した。教育長から記録保存、後継者育成のため市指定民俗文化財のDVDを制作すると答弁があった。進捗状況は。

市長 平成27年度から電子記録制作を開始し、本年度で15団体全ての記録が保存される。教材として学習活動の強化につながるよう団体や関係機関と連携する。

教育長 文化や伝統を継承する体験学習で地域に誇りをもつ児童生徒を育成する。

**消滅可能性自治体
八幡平市から脱却**

問 令和6年4月25日付、岩手日報は県内の消滅可能性自治体を公表。当市の2020年度の総人口は2万23人、2050年の推計は1万1349人で県内14市

では減少率が最も高い。古里がなくなるのではと危機感や不安を感じている市民もいる。消滅可能性から脱却し、持続可能なまちづくりへの具体的な考えを伺う。

市長 人口減少対策は国が主導を明確にし、われわれ自治体は縮小していく中で

も現在ある資源を最大限活用し「しあわせを実感できるまち」の実現に向け施策を展開する。(仮称)大更駅前顔づくり施設を活用し子育て世代を核に交流人口と関係人口の拡大を図る。「子どもを育てたいまち八幡平市」の実現に鋭意努力をする。



勝又安正 議員
(八起会)

路網整備が重要課題 地域の要望を基に検討



林業業者による伐採作業の様子

問 持続可能な林業を確立するためには、林道・作業道の路網整備が重要課題である。本市の整備計画は。

市長 林道整備は、市森林整備計画および地域森林計画への位置付けが必要である。また、林道開設に伴い地権者の同意が必要である

ことから、事業者の森林経営計画や地域の要望を基に県と調整し、路網整備を検討していきたい。

問 ふれあいの森を活用した森林学習への取り組みは。

教育長 安代中学校では、毎年、ふれあいの森での自然観察や木の伐採作業の見

学を行っている。今後も各学校の自然体験活動が一層充実するよう支援していく。

新規就農者の支援

問 農業経営を円滑に継承し、地域農業の新たな担い手となっていくことを目的とした親元就農支援金の内

容について伺う。

市長 本年度より親元就農支援金を創設し、新たに就農した場合、1人当たり1回限りで50万円を支給する。

問 新規就農者の重要性和指導強化について伺う。

市長 新規就農者が地域にとって重要な担い手である

と認識している。また、指導強化については、地域の組織づくりの一員となるよう関係団体と連携していく。

問 農の大地担い手育成支援事業の継続性は。

市長 5年度に要綱改正を行い、現行の要綱で7年度まで継続して事業を行う。



たかはし えつろう
高橋悦郎 議員
(日本共産党)



問 全国では、ふるさと納税の受入額が年に1千億円規模で急激に増え、令和4年度は9654億円と過去最高になった。寄付を増やすため、各自治体は必死に工夫と努力をしている。人口7千人の北海道白糠町では、4年度に148億円の

寄付金を受け入れ、半分の74億円を一般会計に入れている。本来の地方自治体制度を壊しかねない事態となっているが、見解を伺う。
市長 行き過ぎた自治体間の競争は是正が必要である。この寄付金は「基準財政収入額」ではないので地方交

付税は減らない。この部分は見直しが必要と考える。
問 ふるさと納税制度は、寄付した金額から2千円を差し引いた金額を住民税から減額できる。さらに寄付額の3割程度の返礼品ももらえる仕組みになっている。一方、住民税非課税者には

メリットがないなど、不公平な制度でもあるが見解は。
市長 非課税の方々に考慮した制度設計にはなっていないと思う。
人口減少への対策
問 盛岡市および滝沢市への人口流出に、歯止めがか

からない。その対策として狐塚地区（大更）の市有地に宅地造成などの活用をこれまででも提案してきたが、改めて実施の考えを伺う。
市長 狐塚地区はインフラ整備が課題である。市立病院周辺に民間の参入も含めた、宅地整備を検討したい。



ふるさと納税の返礼品発送作業所

ふるさと納税は不平等だ

スタート時点と比べ変化



くまざわ ひろし
熊澤博 議員
(自由クラブ)



今の米価は妥当な値段か 本精算の加算に若干期待



田植えが済んだ上関（西根地区）

問 農林水産省の示す令和4年産米60[㍊]の生産費は1万5273円、5年度産米は1万2千円の取引で採算が合わないのではないか。
農林課長 現在の相対相場は1万5千円を超え本精算での加算に期待している。
問 農林水産省は、令和5

年までに農地の8割を担い手に集積し、生産費を4割削減して、60[㍊]当たり9600円にまで引き下げる目標だったとされるが。
農林課長 担い手だけでは1人当たりの面積は相当なもので心配だが、低コストの取り組みが一般の農家に

普及できれば可能性もある。
問 衛星利用測定システム（GPS）のドローンを使うたもみ種の直まきや乾田直まきの栽培が、全国的に始まっているようだが。
農林課長 市内でのドローンを利用した直まきに取り組んでいる方の把握はできて

いないが、乾田直まきは市内ですでに何人かいる。
報酬改定への対応
問 今回の障がい福祉サービスの報酬改定で、社会福祉協議会の下にあるB型事業所の「ポパイの家」の職員給与は、引き上げられる

ことになるのか伺う。
市長 社協職員の給料体系は、市職員に準ずる運用をしているので、市職員の給与と著しく懸け離れているとは捉えてない。「ポパイの家」の職員が社協の職員と同じ待遇なのか、どんな対応になるのかを確認する。



くどう たひろ
工藤多弘 議員
(松西会)



顔づくり施設費用対効果 市民サービス向上が目的



昨年開催された「はちマルシェ」

問 市民の税金で施設の維持管理費を支払っていくことになるが、費用対効果をどのように考えているのか。
市長 1階、2階部分は、利用料などいただくことを検討している。図書館は、市民サービスの向上が図られることが効果である。

問 はちマルシェ実行委員会での大更駅前イベントの協議内容について伺う。
商工観光課長 はちマルシェについては、昨年と同様の形で出張おもちゃ美術館を併せ、10月中旬に開催を予定している。
問 商業用地は契約締結後、

何年以内に開業しなければならぬのか。
商工観光課長 購入した商業用地は取得後3年以内に創業を開始する条件である。
熱中症対策の対応
問 市内に6カ所のクールシェアスポットが登録され

たが、登録をどう呼びかけ、設置をどう周知するのか。
まちづくり推進課長 指定管理施設などへの呼びかけ、市ホームページや公式LINEなどで周知していく。
女性の活躍を推進
問 八幡平市女性会議を開

催し、市政に意見を反映する場を増やすべきでは。
企画財政課長 6月に人口減少問題をテーマに女性会議を開催した。2回目、3回目以降は、市の状況や施策状況を踏まえて、まちづくりに参画・寄与していく視点で進めたい。



さいとう たかお
齊藤隆雄 議員
(日本共産党)

支援学校通学への支援は 障がい児通学支援事業で



県立盛岡みたけ支援学校高等部

問 特別支援学校への通学に、何か支援があるのか。
教育長 市障がい児通学支援手当支給事業により、市外の特別支援学校に送迎する保護者の負担軽減のため月額5千円を支給している。
問 市内での支援学校分教室の開設に向けたこれまで

の経緯と経過、現在の取り組みについて伺う。
教育指導課長 分教室の設置については、3年前から要望している。5月には協議を行い、具体的な場所やイメージ、生徒数、近隣市町からの利用などについて意見交換した。また、夏ご

ろに再度協議の場を設ける。
問 分教室の設置は、10年度までの県の計画にはないが、追加計画として前向きに捉えて良いのか伺う。
教育指導課長 協議の場では、「整備計画にないが設置されないということか」と確認したところ「そうい

うことではない」と回答を受けている。今後何が条件として整備設置可能になるのか協議を続けていく。
グラウンドの緑化
問 田山グラウンド緑化の目的を伺う。
市長 田山グラウンドの有

効活用を課題と捉え、田山グラウンド近隣住民への砂ぼこり対策として、グラウンドの緑化を進めている。
問 ソフトボール競技の試合や練習に不都合はないか。
市長 野球やソフトボールなど多目的な利用に支障はないと考えている。



たむら まさと
田村正元 議員
(八起会)



小中学校統合の方向性は 中学校は3年後をめどに



統合後の跡地について議論が必要

問 第3期八幡平市小中学校適正配置計画の具体的な統合年度の予定はいつか。
教育長 中学校は今年度中に場所の候補地を決定し、3年後をめどに現在ある校舎を利用して統合し、スタートしたいと考えている。
問 統合検討委員会の内容

やメンバーなどの情報を開示していくべきでは。
教育長 現時点では部外秘の状況で進めている。
大更顔づくり施設
問 遊具の仕様や運営方法など具体的な計画は。
市長 大更駅前拠点施設整

備本部の幹事会と本部会議で詳細を順次決定していく。
問 図書館の具体的な計画は。
教育長 昨年のアンケートを参考にし、市民に愛され期待される図書館を造る。
問 国のデジタル田園都市国家構想交付金も採択されている事業もあり、市当

局の会議へ、市民や有識者の参加、市民フォーラムなどの開催は検討されるのか。
市長 図書、子育て支援施設の専門機関など市民の皆さまの声も聞きながらまとめていくのが本部会議である。フォーラムなどは検討できる段階ではない。

宅地造成の計画は
問 物価高騰や定住対策も考えた市独自の宅地造成の計画は考えていないのか。
市長 大更駅東側の大更中央線沿線を中心に手法も含めて早急に方向性をまとめていきたいと考えている。

議会の動き

(令和6年4月10日～6月28日)

4月

- ▶10日 議会運営委員会
- ▶16日 会派代表者会議、令和6年第1回臨時会、議員全員協議会
地域における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業報告会
- ▶19日 議会広聴広報常任委員会
- ▶26日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会監査(例月現金出納検査)、盛岡広域環境組合議会監査(例月現金出納検査)

5月

- ▶13日 議会運営委員会、令和6年第2回臨時会、総務教育常任委員会、産業民生常任委員会、議会広聴広報常任委員会、令和6年度八幡平市議会市政調査会総会、議会改革推進会議
- ▶23日 総務教育常任委員会協議会
- ▶24日 産業民生常任委員会協議会
- ▶27日 議会改革推進会議タブレット部会
- ▶28日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会監査(例月現金出納検査)、盛岡広域環境組合議会監査(例月現金出納検査)

6月

- ▶6日 議会運営委員会
- ▶12日 令和6年度第1回タブレット型端末操作研修会
- ▶13日 令和6年第2回定例会(～21日)、議会広聴広報常任委員会
- ▶14日 総務教育常任委員会
- ▶17日 議会運営委員会、産業民生常任委員会
- ▶18日 議会運営委員会、議会改革推進会議
- ▶19日 オンライン(リモート)会議操作講習会
- ▶21日 議会運営委員会
- ▶27日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会監査(例月現金出納検査)、盛岡広域環境組合議会監査(例月現金出納検査)
- ▶28日 議会広聴広報常任委員会



4月16日の事業報告会の様子

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。